



スレース・マリヤムさん

サウジアラビア出身 来日5年目 足利大学工学部4年(留学生)

お祭りが楽しくて久喜市に決めた!

幼少期よりサウジアラビアで放送されていた日本のアニメが好きで、いつか日本で生活してみたいと思うようになり、努力実って国費での留学の夢を叶えました。日本語学校で学びながら受験勉強にも励み大学に入学。AI(人工知能)を専攻、エンジニアを目指しています。大学や東京へのアクセスに便利な所に住もうかなと久喜に下見で来てみたら、偶然やっていた駅前のお祭りがとても楽しくて、このまちに住もう!と決めました。

久喜は人が温かくて、心安らぐところ。久喜の甘い梨も大好きです!人生は一度きりをモットーに、人との出会いを大切にしながら念願の日本での生活を有意義に過ごしています。



マリヤムさんはYouTube等で日本の暮らしを発信しており、チャンネル登録者数は約19万人!昨年は久喜提燈祭りの模様も。



くらしげひろこ
倉茂廣子さん
(マリヤムさんが「お母さん」と呼ぶ、「日本の母」)

娘のような存在のマリヤムは、社交的で聡明、思いやりもあって、とってもキュート!日本で学んだことを活かして、自分の目標に向かって頑張っていってほしいです。そして、幸せに暮らしてくれることを願っています。



ダニエル・ビベンズさん

アメリカ出身 来日14年目 市内中学校ALT(主任外国語指導助手)

久喜周辺の居酒屋が好き!

こどもの頃から任天堂のゲームが好きで日本に興味を持っていました。大学で日本の歴史を学び、在学中に交換留学で来日したことを機にもっと日本にいたいと思い、その後久喜市でALTに。日本語はオノマトペ(擬音語)が多くて覚えるのが大変でしたね、「ゴロンする」って何?とか(笑)

このまちのお気に入り、久喜駅周辺の居酒屋やバー、赤ちょうちん。居酒屋の料理はおいしい!妻と出会ったのも駅前でのバーでした。久喜市の方は皆さん優しくありがたいです。学校の生徒たちからもらった手紙は全て大切にっています。



趣味の一つはライオンズの試合観戦。有料の動画配信サービスにも登録するほどの熱の入れようです。



あきこ
ビベンズ・明子さん
(ダニエルさんの妻)

何に対しても「ありがとう」や「料理おいしかったよ」と言ってくれる、優しい夫です。私より日本人らしくて、細かい気配りしてくれるし、人の前を通るときに手刀もするんですよ。夫と話すときは、難しい言葉はやさしい日本語に置きかえて、わかりやすい言葉を心がけています。

このまち 久喜市 で暮らす。



市内在住の外国人や、外国にルーツのある方はどんな方がいるのでしょうか。皆さんが来日した背景や暮らしぶり、身近な人物の声をいくつかご紹介します。

久喜市と世界をつなぐ ~異文化交流コラム①

日本の文化や久喜市での日常生活等をSNS等で発信するなど、久喜市と世界の架け橋になっているスレース・マリヤムさん。今年2月には、清久地区婦人会の公開学習会にて「多様性」について講演をされ、伝統衣装の試着を交え、イスラムの慣習を紹介しました(写真①)。

また、9月13日には、久喜市の子どもたちと交流するために久喜南中学校を訪問(写真②)。生徒たちは自分の知らない文化や生活様式に興味津々。サウジアラビア式の挨拶なども交えて交流を楽しんだり、夢や目標に向かって努力することの大切さを自身の経験をもとに話され、有意義な時間となりました。



YouTube



Instagram

▲マリヤムさんのYouTubeチャンネルとInstagram。日本に関心のあるサウジアラビア人から人気を集めており、中には自転車で久喜市内のカフェを巡る趣味の動画なども(写真)。日本への留学を検討しているサウジアラビア人の相談にも乗っているそうです。



講演会では、イスラム文化やサウジアラビアの生活様式などを流ちょうな日本語で解説され、世界の多様さを学ぶことができました。



生徒からは「日本で一番おいしかったものは?」「アラビア語で「好き」って何て言う?」「なぜお祈りをされるのですか?」など、素朴な質問が寄せられました。

佐藤 健さん(元の中国名「肖健」)・荊 鴻丹さん

中国出身 来日33年目・15年目 中華料理店「弘園」経営

久喜市は人情のまち!

(健さん) 祖母が日本人だったことが縁で日本に移住しました。最初は「いつになったらこのテレビの言葉が分かるんだろう…」と不安ばかりで、5年くらいは何か夢を見ているような感覚でした。今は久喜市に店を開いて14年になります。中国では餃子は主食なので、日本の餃子定食を見て最初は不思議でしたが、今では私も食べてますよ(笑)

久喜市の好きなのは人情!みんな温かくて優しいです(妻の鴻丹さんもうなずく)。いろいろ苦労もありましたが、地域の皆さんに支えられてきました。これからも人を喜ばせられる料理を、心を込めて作っていきたいと思います。



「料理はいつでも出来立てを提供します」と健さん。鴻丹さんのイチオシは麻婆豆腐!



いまいけいじ
今井啓己さん
(久喜東小地区コミュニティ協議会会長)

個人や家族ではもちろん、イベントの打ち上げや懇親会でもよくお店を利用しています。おいしいし、いっぱい食べられる!お二人は温厚・静かで人柄も良いので、ついわがママを言っちゃうこともあるけど、いつまでもおいしい料理を作り続けてほしいです。



左から荊鴻丹さん、佐藤健さん

※同じく9月13日、久喜北小学校でインドネシアからの視察団、10月4日に久喜東小学校でインドからの教職員との交流事業が行われました。詳細はフォトニュース(19ページ)をご覧ください。